

付録 2

印刷して実際にやってみてください。

ババゲーカード 100

〔遊び方〕 1

トランプのババ抜きのように遊ぶ方法

- (1) 1～99 の 100 枚のカード（50 が 2 枚ある）から 1 枚抜き取る。抜き取ったカードは裏を向けておいておく。誰にも数字を知られてはいけません。
- (2) 残った 99 枚のカードを、参加者に配ります。3 人～6 人で遊ぶことを推奨します。
- (3) 配られたカードから、参加者は「2 枚の合計が 100 になる組み合わせ」を探し、見つければそれを表の数字面を上にして、場の中央に置きます。100 ができる分すべてを出してください。
- (4) 参加者が、手持ちのカードで(3)の作業を終えたら、枚数の一番少ない人が、右隣り（左隣でもよい）の人のカードから 1 枚抜き取り、そのカードとペアで 100 になるものがあれば、場の中央に出します。ペアが作れないときはそのままにしておきます。
- (5) カードを抜き取られた人は、右隣り（左隣でもよい）の人のカードから 1 枚抜き取り、そのカードとペアで 100 になるものがあれば、場の中央に出します。ペアが作れないときはそのままにしておきます。
- (6) これを次々と繰り返し、一番早く手持ちのカードがなくなった人を勝ちとします。

〔遊び方〕 2

- (1) 1～99 の 100 枚のカード（50 が 2 枚ある）を、参加者に配ります。3 人～6 人で遊ぶことを推奨します。
- (2) 配られたカードから、参加者は「2 枚の合計が 100 になる組み合わせ」を探し、見つければそれを表の数字面を上にして、場の中央に置きます。100 ができる分すべてを出してください。
- (3) 参加者が、手持ちのカードで(2)の作業を終えたら、枚数の一番多い人が、手持ちのカードから好きなカードを 1 枚選び、場の中央に出します。
- (4) 参加者は、場の中央に出されたカードとペアになる（合計が 100 になる）カードを手持ちのカードの中から見つけたら、直ちにその上に重ねて出します。
- (5) (4)でカードを出した参加者は、残った手持ちのカードから好きなカードを選んで場の中央に出します。

(6) (4)(5)を繰り返し、一番早く手持ちのカードがなくなった参加者を勝者とします。

他にも様々な遊び方が考案できると思います。

面白い遊び方を思いつかれた方は、みんなでシェアしましょう。

★ ババゲー100は少し厳しいかもという方は、手始めにババゲー30やババゲー40を試しましょう。

〔遊び方〕1の場合は、ババゲー30では使うカードが1~29、ただし、15が2枚必要です。また、ババゲー40の場合は使うカードが1~39で、20が2枚必要です。ババゲー50では1~49を使い、25が2枚必要です。

予備のカードを使って不足分をご用意ください。

★ ババゲーカードは、やや厚めの紙に印刷して、切りはなしてご使用ください。普通のコピー用紙でも遊べなくはないですが、遊ぶたびに毎回用意し直さないといけなくなるかもしれません。

➤その他注意事項

ババゲー、バラゲーの名称、およびバラゲーカードの名称は、絶対に無断使用しないでください。

また、著作権はすべてこの作者に帰属しております。

無断使用、複写、などは厳に禁止とさせていただきます。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

15

20

25